



2021年 サステナビリティ・リーダーシップ賞 軽工業部門

ホルメン・イグスンド
(イグスンド工場)

2021-11-09

ホルメン・イグスンド、サステナビリティ・リーダーシップ賞を受賞

ホルメン・イグスンド工場 (Iggesunds Bruk) は、2020年のサステナビリティにおけるパフォーマンスが評価され、2021年度「EcoVadis リーダーシップ賞」を受賞しました。

EcoVadisは世界的なサステナビリティ評価機関で、毎年世界中の企業に対して25,000件の評価を行なっています。EcoVadisの評価方法はGRIやグローバル・コンパクト、ISO 26000などの主要なCSR基準をベースにしており、国際科学委員会によって監修されています。

イグスンド工場は、EcoVadisの採点システムで100点満点中77点を獲得し、サステナビリティにおけるグローバル・リーダーとして認められました。この結果により同工場は、EcoVadisが評価を完了した時点で、全評価対象企業の上位1%に相当するプラチナレベルを獲得。2020年の評価結果を総合的にまとめ、EcoVadisは、イグスンド工場がクラス最高であるという見解に至りました。マクロ部門（軽工業）において2020年度の最高の得点を収めたことで、イグスンド社に1位の座がもたらされたのです。これに関連して、EcoVadisはホルメン・イグスンド工場にサステナビリティ・リーダーシップ賞を授与。この賞は、サステナビリティのパフォーマンスとイノベーションをリードする企業を表彰するものです。

ホルメン・イグスンドのサステナビリティ責任者であるヨハン・グラノーズ (Johan Granås) 氏は、今回の受賞について次のようにコメントしています。「ホルメン・イグスンドのサステナビリティチームを代表して、この賞を誇りに思います。このチームは、当社の優れた取り組みをすべてEcoVadisの評価に反映させるという素晴らしい仕事をしてくれました。サステナビリティとは、一步一步改善に努め、世界で最もサステナブルなペーパーボード (板紙) を生産するという共通の目的に向かいお客様とともに取り組む、日々のチームワークです。工場の組織全体が、皆で力を合わせれば山を動かすことができるのだということを証明してくれました。」

ホルメン・イグスンドのヨハン・ネルベック (Johan Nellbeck) CEOも、グラノーズ氏の熱意に共感してこう述べています。「サステナビリティは当社の事業の中核であり、EcoVadisからこのような評価を得たことは大きな意味があります。これにより、当社が正しい道を歩んでいること、また、常に目指しているサステナビリティ市場でのリーダー的地位を確立していることが明らかになりました。当社のサステナビリティの取り組みは、全社で枠組みを作り多くのお客様とともに進んでいるもので、プレミアムパッケージ用の真にサステナブルな素材を市場に提供し続けるための重要な鍵となっています。」

詳しくは、下記までお問い合わせください。

サステナビリティ責任者 ヨハン・グラノーズ
johan.granas@holmen.com

**HOLMEN
IGGESUND**